

くらしに役立つお金と生活の知恵を学ぶ

# くらし塾 さんゆう塾

vol.33

2015夏号

●巻頭インタビュー

好きになれないはずがない

編集者・評論家 山田五郎

●連載エッセイ 経済学者がくらしをあばく  
イノベーション

新しさをひろめる作法

東京大学大学院経済学研究科教授 松島 斉

●そこが知りたい! くらしの金融知識

学び続けるための教育資金

～教育資金の事前準備と奨学金～

●金融教育の現場レポート

『中学校から会社をつくろう』

～日本を背負い、世界と向き合う人材を育てる金融教育～

知るぽると

金融広報中央委員会

好きになれない  
はずがない

巻頭  
インタビュー

山田五郎さん

編集者・評論家

●巻頭インタビュー	2
●家計管理・生活設計のツボ 〈第5回〉もう一度考えてみたい 家計簿をつける意味、つけ方	6
●まんが わたしはダマサレナイ!! 電子(デジタル)ギフト券 購入詐欺	8
●連載エッセイ —経済学者がくらしをあばく— 〈第1回〉イノベーション 新しさをひろめる作法	11
●そこが知りたい! くらしの金融知識 学び続けるための教育資金 ～教育資金の事前準備と奨学金～	14
●金融教育の輪 公益財団法人 生命保険文化センター	19
●なるほど知るぼると 新パンフレット 「大学生のための 人生と お金の知恵」のご紹介〈前編〉	20
●金融教育の現場レポート 『中学校から会社をつくろう』 ～日本を背負い、世界と向き合い人材を育てる金融教育～	22
●金融広報アドバイザーの誌上セミナー 子育て世代の家計運営 と生活設計	26
●金融・経済 おもしろ豆知識 〈第5回〉「江戸川柳」	28
●おたよりコーナー	29
●都道府県金融広報委員会一覧	30
●まなびや訪問 宮城県石巻北高等学校	31



編集者・評論家である山田五郎さんは、テレビやラジオなどでパーソナリティやコメンテーターも務めるなど

さまざまな方面で活躍されています。

出版社に就職後、若者情報誌の編集部配属され、興味のなかったファッション記事を担当したものの、そこから「好きになれないはずがない」を信じ、

前向きな好奇心を発揮して、

知識や世界を広げてきた山田五郎さんに、仕事についての考え方や人生観、豊かさやお金に対する見方についてうかがいました。

## ごく普通の家庭で「がまん」を賄われた少年時代

ファッションからホビー、カルチャーまで、その幅広い知見を軽妙な語り口で披露し、人々を魅了する山田さん。いったいどんな少年時代を過ごしたのだろうと訊ねると、「とくに豊かでも貧しくもない典型的なサラリーマン家庭。何の不幸もないことが逆に不幸。だと悩んだくらい、ごく普通に恵まれた環境でしたね」と独特の表現で自身を振り返ります。

小学5年生のころ、東京から大阪へ引っ越し、高校まで育った山田さんは、お金についての教訓といえば、「大阪商人気質」の祖父の言葉を思い出すと言います。

「将棋をすると、子ども相手に平気でズルをする。後で気づいて指摘しても、『そんなん騙される方が悪い、気づいたら、その場で言わなあかん』なんてシレッとしている。また、当時、大阪の進学校の多くは公立で、東京は私立が台頭していた時代だったんですが、『東京では、人より勉強ができるやつが

余計に金払わなあかんとは、おかしい話や』なんて言っていましたね。当時はひどいことを言う人だなあと思っていましたが、見方によつては正論ですよ」と懐かしそうに笑います。

山田さんは三人兄妹の長男で、小学校低学年のころのおこづかいは週30円。

「好きな少年マンガは、こづかいとは別に月刊誌を一誌、買ってもらっていました。週刊誌は近所に住む従兄弟と分担して買って回し読み。本なら買ってもらえましたが、『怪獣図鑑』が欲しいと父に頼んでも『恐竜図鑑』を買われてしまう。そっちの方が勉強になりますからね。戦闘機のプラモデルや『サンダーバード基地』なんかも欲しかったんですけど、『お兄ちゃんだからガマンしなさい』が当たり前で、高価なものはなかなか買ってもらえませんでした。」

高度経済成長期に生まれ育った山田さんの少年期は、「欲しいものをガマンする」ことは珍しくなかった時代。ところが、自身の子どもも含めて今の若い世代の人たちは、何不自由ない時代に育つたためか、「どうしても欲しい」というものがないようだと言田さんは感じています。

「モノでも情報でも、欲しくなるのは『お金があるから』ではなく、『飢えているから』だと思います。バブル期は、実は今ほどモノも情報もあふれてはいませんでした。多くの日本人が知らなかったモノやコトがまだまだたくさん残っていて、簡単には手に入らないけど努力すれば手が届く。だから憧れ、欲しくなった。バブル期は、そんな適度な刺激と飢餓感を共有できた最後の時代だったと思います。今のようには、モノも情報もあふれっぱなしの状態では、何を見ても刺激が得られず、欲しいと思う気持ちがわいてこなくなるのも当然ですよ」。

「だから、せめて教育の場では、モノと情報を与えず、飢餓感を高めることで、努力して手に入れようとする欲求と、それを実現する力を養うべきではないかと思うんですよ。便利なIT機器の使い方方を教えるなんて、体育の授業でクルマの運転を教えるのと同じこと。どちらも社会に出てから必要に応じて学んでも間に合います。学校では、あえて不便な環境を作り、自分の足で走る体力と自分の頭で考える知力を育ててほしいですね」と、山田さんは自身の子育て経験をふまえ、恵まれ過ぎている時代に疑問を投げかけています。

## ダメ社員から、一世を風靡した雑誌の編集長へ

山田さんは大学を卒業後、大手出版社に就職をします。出版・マスコミ業界を選んだ理由は、「働く時間が不規則だと聞いたから」。

というのも、実は山田さんは学生時代から、「朝起きられない」という理由で、勤務時間が決まっているアルバイトには馴染めませんでした。結局、自宅でできる通信教育の添削や翻訳の下記など、自分で時間をコントロールできるタイプのアルバイトしか続けられなかったそうです。

「でも、新入社員の研修期間中は当然、時間通りに出社しなければならぬので、すぐにダメ社員のレッテルを貼られました。入社当初から遅刻続きで、人事課長に『もう来なくていい』とか『配属できる部署がない』とか叱られてばかり。なんとか配属していただけたんですが、創刊3年目でまだ軌道に乗っていなかった若者情報誌で、中でも苦戦していたファッション記事の担当に。編集部も本社屋から離れたプレハブ造りの別館にあり、



## インタビュー 山田五郎

島流しにあったような気分でした」。

「ダメ社員ですからね、仕方がない」と笑いますが、この編集部で山田さんの才能が一気に開花します。情報誌の編集の仕事はまさに激務。「朝起きられない」どころか、「家に帰れない」ため、遅刻のしようもないという環境では、山田さんの最

大の欠点は全く問題になりません。元来、真面目で一生涯懸命な性格で、雑誌編集に打ち込むことはまったく難しくなかったそうです。

80年代、ちょうどファッション業界にDCブーム（デザイナーズ&キャラクターブランドの洋服の大流行）が到来し、「男性ファッション誌は売れても30万部が限界」と言われた時代から、一気に60〜70万部も売り上げる人気雑誌へと成長します。山田さんは、ダメ社員から敏腕編集者として大活躍する時代を突っ走っていきました。

山田さんの飛躍には、一見興味の無いことや、自分の考えと少々違うことでもまずは受け入れ、すべての出会いから、あらゆる影響を受けてきたという柔軟な姿勢があります。思い出の一つとして、新入社員のころ、書店実習先での社長の言葉を紹介してくれました。「当時は新しい雑誌がどんどん生まれていました。たまたま書店の社長に『お前の会社はなんでこの雑誌を出したのか?』と質問さ

れたので、『広告収入が見込めるからです』って答えたんですよ。そうしたら、『バカもん! お前は儲けだけを考えて雑誌を作るのか? 自分がどうしても『これが作りたい』という思いはないのか?』と一喝されたんです。そのときは『この社長、古いな』としか思えませんでした。今はその言葉の意味が

よく分かります。『どうしてもこれを作りたい』『絶対にこれが面白い』という信念もなく、マーケティングや計算だけで作った雑誌は、たとえ一時的に売れても長くは続かない。逆に作り手の抑えきれない情熱がこもった雑誌は、たとえ部数が伸びなくてもそう簡単にはなくなりませんし、仮になくなっても人々の記憶に残る。今でも忘れられない一言ですね。

**好きになるには、「好きになれないはずがない」と信じること**

ここまでの話を聞くと、多くの人は、山田さんは好きなことを仕事にできた幸運な人だと思いかもしれません。ところが驚くことに、「ファッションには興味がなかった」という意外な答えが返ってきました。

ファッション、車、音楽など世の中にはさまざまなジャンルがありますが、マスコミ・出版業界の人間は、常に時代のトレンドを捉え、あらゆるジャンルのファンを満足させる必要があります。さらに言えば、時代の最先端を作っていくような魅力ある雑誌づくりが使命です。

「作り手がそのテーマを本当に好きでないと、読者を説得できません。だから、『興味はないけど仕事だから頑張る』だけでは不十分。『興味がなくとも頑張って好きになる』。つまり、好きになることと自分が仕事なんです」。

まさに今の山田さんの原点は、この独自の仕事観にあるのでしょうか。とはいえ、もともと興味のないものを、どうやったら好きになることができるのでしょうか。

「どんなテーマでも、それが好きな読者がたくさんいるからこそ、雑誌で扱うわけですよ。だと



すれば、自分も好きになれないはずがない。多くの方が好きなものには、何らかの魅力が必ずある。前向きな気持ちで喰らいつければ、何かしら興味を持てる点、好きになれるところが見つかるはずだ。そこを突破口に興味の幅を広げていけば、『好きになれないはずがない』。そう信じて頑張りましただ。お陰で、もともとは興味のなかった分野のことにも詳しくなることができたんですよ」。

「たとえばファッションの場合、私が最初に面白いと思えたのは歴史でした。当時はポストモダン思想がブームで、ファッションを文化史的側面からとらえた名著が相次いで刊行されていたんですよ。歴史を知ること、逆に最新の流行にも興味が持てるようになりました。また、分野を問わず素材や技術には元々、関心があったので、そんなところからデザイナーさんやお店の方との会話が広がり、いろいろ教えていただきました」。

自分のキャリアに対し、「自分のやりたい仕事じゃなかった」と簡単に仕事を辞めてしまったり、「自己実現」「自分探し」といった点ばかりを重視したりする風潮を山田さんは「やってみて分かることもあるのに、もったいない」と言います。目の前に与えられた仕事と本気で向き合う大切さを、私たちも山田さんの経験から学ぶことができそうです。

## 文化・芸術に「お金を有効活用」

山田さんは大学で美術史を専攻し、オーストリアのザルツブルクでの留学経験もあります。山田さん自身が「本当に好きなこと」はそこが原点。時計をはじめ、さまざまな美術工芸品に造詣が深く、西洋絵画の見方に関する入門書も上梓されています。

「美術史をやっていたときも、フレスコと油絵の違いといった技術的な話が好きでした。だからファッションでも素材や縫製に目が行った。デザイナーさんにうかがうと、『この素材と出会ったからこそ、このデザインが生まれた』なんて話がよくあります。芸術もファッションも、発想だけでモノは作れません。素材や技術って、実は結構大切な要素なんですよ」。

物事が成り立つ背景を調べるうち、次々に興味がわいてしまう山田さんが今、執筆準備を進めているのが、時計が世界の文化史に深いかかわりがあったことを著す、これまでにない「時計文化史」だそうです。

「機械式時計は、人類の歴史を変えた大発明の一つです。なのに、技術的側面と文化的側面が別々に語られてきたせいで、いまひとつ重要性が理解されていない。そこを一つにまとめて、時計の歴史的意義を明らかにしたいと思っています」。

そんな山田さんは、文化・芸術にお金を使うことに、社会がもっと目を向けてほしいと思っているそうです。

「そもそも、お金は使うためのもの。使わないお金をお金を貯め込むのは、使いたくない資格を取るのと同じで、現代の日本人に特有の心理だと思っています。『何かあったとき困らないように』といいますが、何が起きるか予想しな

いのは一種の思考放棄ですよ。いくらの家を買えばローンの返済がどうなってる、子どもが何人いれば教育費はいくらかかり、病気になるれば医療費はこれくらいと、ちゃんと考えれば人の一生に必要なお金の額は大体、分かるはず。それ以上、貯め込む必要はありません」。

「お金の貯め方や増やし方だけではなく、『上手な使い方』をもっと教えてほしいのではないでしょう。そうすれば、他者のためにお金を使う『寄附の文化』も、欧米並みに根付くはず。私自身は、文化や芸術を支援することにお金を使いたいですね。寄附したくなるほど素晴らしい美術館や劇場は、日本にもたくさんありますから」。

繊細な文化・芸術を語りながら、「お金は使ってなんぼ」という大阪商人の気風ものぞく山田五郎さん。これからも、「好きになれないはずがない」の精神で得た知識をもとに、独特の切り口で、いろいろな世界を私たちに紹介し続けてくれることでしょう。



### ●山田五郎（やまだ・ごろう）

1958年、東京都生まれ。上智大学文学部在学中にオーストリア・ザルツブルク大学に1年間遊学し西洋美術史を学ぶ。卒業後、(株)講談社に入社『Hot-Dog PRESS』編集長、総合編集局担当部長等を経てフリーに。現在は時計、西洋美術、街づくり、など幅広い分野で講演、執筆活動を行っている。

著書に『百万人のお尻学』（講談社＋α文庫）『知識ゼロからの西洋絵画入門』（幻冬舎）『知識ゼロからの西洋絵画史入門』（幻冬舎）『銀座のすし』（文藝春秋）など。TV：『出沒！アド街ック天国』（テレビ東京）『ぶらぶら美術博物館』（BS日テレ）他レギュラー出演中。ラジオ：『デイ・キャッチ』（TBSラジオ）他レギュラー出演中。

# 家計管理・生活設計のツボ

## 第5回

### もう一度考えてみたい 家計簿をつける意味、つけ方

お金の使い方の傾向が把握できるようになり、家計管理の基本ツールである“家計簿”。「なかなか続けられない」という人は、完璧を求めるあまり家計簿をつけること自体が目的になっていませんか？今回は、家計簿をつけるメリットと続けるためのコツを改めて考えてみました。

- 👍 **ツボ1** 家計の傾向が分かれば、「毎日」「きっちり」つけなくても家計簿は成り立つ
- 👍 **ツボ2** 「お金を貯めてかなえたい夢」が家計簿つけのモチベーションになる
- 👍 **ツボ3** 家計簿の種類はいろいろ。アナログかデジタルかは自分の目的と好みで選んで

#### 家計簿が続かない人が 多いのはなぜでしょう？

私たちが「家計簿をつけよう！」と決意するのは、年の初めや新生活がスタートする春が多いように思います。食費や交通費などで家計は日々動いているのに、それを記録するとなると、何かしらの節目を迎えない限り、なかなか重い腰が上がらないものです。

そうやってしまう理由は、きっと「毎日続ける」ことが、高いハードルになっているからではないでしょうか。その証拠に、書店や文具店の店頭には「これなら続けられる！」という謳い文句のさまざまなアイデア家計簿が並んでいます。家計簿を続けている人は、それだけで周囲から尊敬の目で見られたりしますよね。

でも、ちょっと考えてみてください。家計簿とは、そんなに大変なものなのでしょうか？

#### 家計簿をつける理由を 改めて考えてみましょう

実は、完璧な家計簿をめぐって支出項目を細かく設定したり、1円単位まで厳密に記録したりするなど、負担が大きいルールを課す人は、家計簿が続かない傾向に

あるようです。最初に張り切りすぎて、息切れを起こしてしまうのかもしれないですね。家計簿をつけること自体が目的になってしまっている、ともいえそうです。

家計簿の目的は、お金の使い方をチェックすること。収支を記録し、「その出費は適切だったか？」「あれは無駄使いだったのでは？」と、反省材料としても活用したいものです。

その記録が1カ月、半年、1年と積み重なることで、今度はお金の使い方傾向が分かってくる。「予想以上に通信費が高いから、スマホのプランを考え直そう」「交際費を減らせば、毎月あと1万円多く貯蓄ができるな」といった具合に、無駄使いをしがちな項目や気づかずにいた支出が見えてくるなど、バランスの良い家計管理ができるようになるのです。

このあたりが、「家計簿をつける習慣がある人は、お金が貯まりやすい」と一般に言われるゆえなのでしょう。

とはいえ、家計管理の目的は、単に貯蓄を増やすことではありません。海外旅行で思い出をつくったり、マイホーム購入を実現するため、子どもの進学や夫婦の老後を安心して迎えるためなど、将来

#### 「知るばると」で知る家計簿長続きのコツ

「家計簿をつけるメリットは分かるけれど、続ける自信がない…」と躊躇しているあなたは、こちらのURLもご覧ください。

##### 「あなたの家計管理の腕前チェック」

10の質問に答えると  
あなたの家計管理の腕前が診断されます。  
“腕前”ごとに役立つ資料の案内も

<http://www.shiruporuto.jp/tool/clinic/udemae/>



##### 「家計簿長続きのコツ」

家計簿を続けている先達の  
“ゆったり・ざっくり”アドバイス集

<http://www.shiruporuto.jp/tool/clinic/kotu/>



簡単・シンプルタイプ	レシート撮影タイプ
おこづかい帳のような分かりやすいデザインで買い物のたびに手軽に入力しやすい。日々の入力、予算管理、自動集計、グラフ化など、機能自体もシンプル。キャラクターがかわいいものも多く、楽しく続けられる工夫がされている。	レシートをスマホで撮影すると文字を読み取り、入力、項目分けまでしてくれる。内蔵カメラの性能にもよるが、読み取りの正確性は多くのアプリで90%以上。レシートのない買い物の入力忘れが懸念されるが、入力がとにかく面倒という人向け。
目的・属性別タイプ	一元管理タイプ
近くのスーパーの特売情報を伝えてくれる主婦向けアプリ、日々の節約の裏技を提供してくれる儉約アプリ、撮影したレシートの項目からその日の献立を提案してくれる料理初心者向けアプリなど、プラスα機能が充実したものも。	銀行口座の貯蓄残高、クレジットカードの利用明細や引き落とし日、プリペイドカードの残高までを一元管理し、お金の動きが手元ですべて把握できるタイプ。証券などの資産まで守備範囲とするものも。オフラインでは操作できないアプリが多い。

の希望やかなえたい夢があるからこそ、節約して貯蓄に励もうと思えるのです。

家計簿を続けるモチベーションも同じことと言えるでしょう。これまで家計簿を挫折した経験のある人は、もう一度、かなえたい夢や目的を見つめ直してみようというかもしれませんね。

## 目的に合った家計簿で 楽しみながら続ける

家計の傾向は、やはりある程度の期間家計簿をつけなければつかめませんから、負担を感じず楽しく続けられる、自分に合った家計簿を選ぶことが大切になってきます。

現在販売されている家計簿には、旧来からの手書きタイプだけでなく、**毎日つけるもの**

- ・1週間ごとにとまとめてつけるもの
- ・レシートを貼るだけのもの
- ・手帳としても活用できるもの
- ・項目別にレシートを袋分けして予算管理もできるもの

などがあります。手書き派の中には、日記も兼ねて市販の大学ノートなどにまとめている人もいます。

一方、表計算ソフトでフォーマットを作ったり、市販の家計簿ソフトを使って家計管理をしているデジタル派も増えていきます。わずらわしい集計作業を自動計算してくれるのが何よりのメリット。年間推計、予算別集計などさまざまな切り口で、瞬時に家計の全体像を把握することができます。

このところ、利用が広がっているのが、スマホの家計簿アプリです。

- ・支出の都度金額を入力するベシックなタイプ
- ・すべての銀行の預貯金、クレジットカード、金融資産まで一元管理できるタイプ
- ・家族でデータを共有して家庭全体のお金の使われ方が把握できるタイプ

など、実にいろいろな種類があって、どれを選ぶか悩むほどです。

常に手元にあるスマホだから、ちょっとした空き時間に入力できるのが、続けられるポイントのようです。

## 通帳の記帳も 立派な家計の記録

さまざまな種類、手法が出そろった感のある昨今の家計簿事情ですが、その中で、自分に合ったものを見つけたポイントは、やはり「何のために家計簿をつけるのか」を明確にすることだと思います。

初めてつける人なら、オーソドックスな家計簿からスタートすることをオススメしますが、1年ほど続けて家計の傾向がつかめたら、シンプルにカスタマイズしてもいいでしょう。不要な項目をそぎ落としていけば、通帳の記帳だけで事足りるかもしれません。預金残高を定期的に確認して、目立って減っていれば原因を確認するというこの方法は、「どうしても家計簿が続かない」という人にも試してほしい家計管理術です。「これなら続けられる」という小さな成功体験を重ねれば、いずれ、家計簿づけが習慣にできるかもしれません。



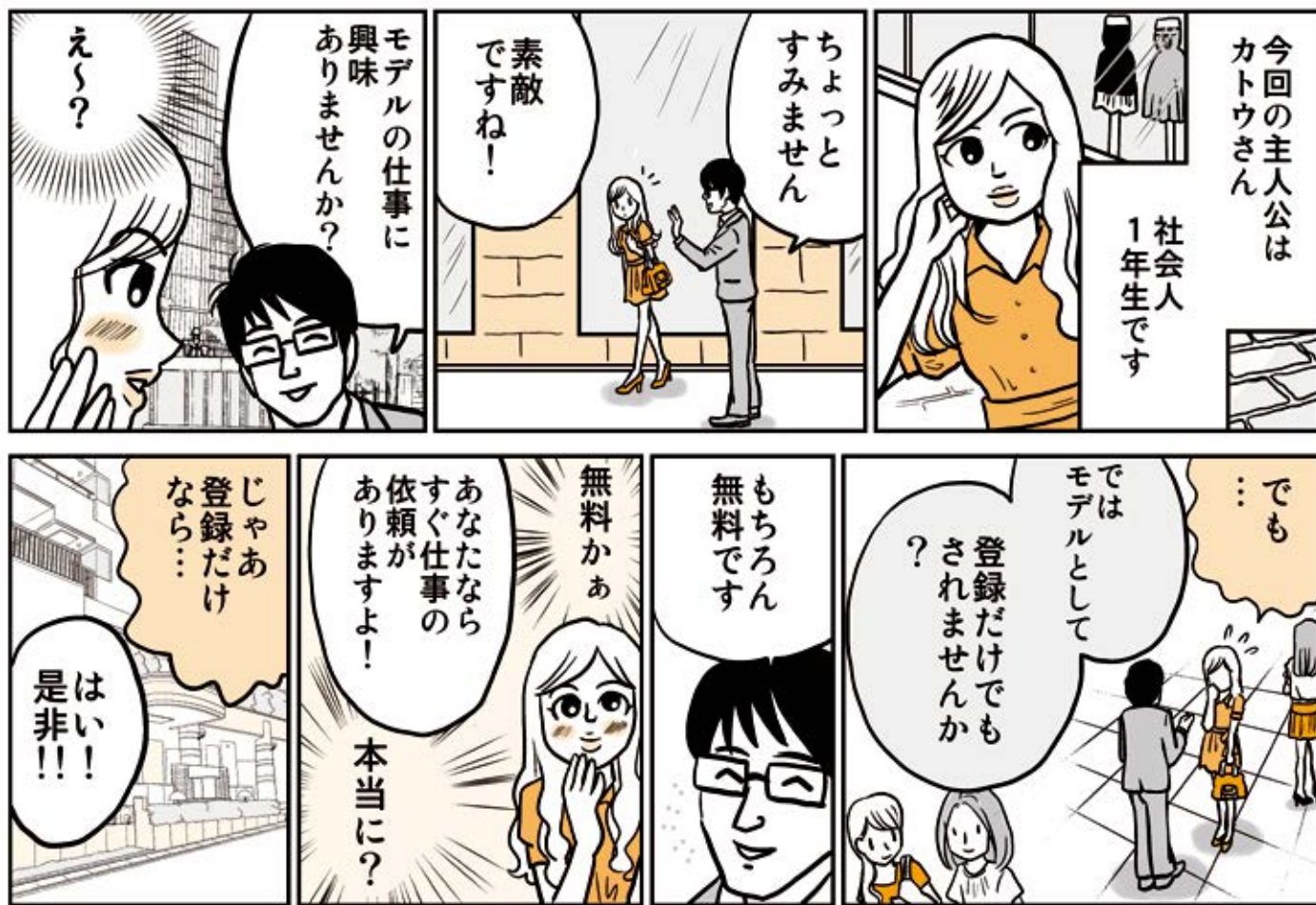
# わたしは ダマサレナイ!!

第29話

電子(デジタル)ギフト券購入詐欺

●監修  
渡邊 千穂  
(わたなべ・ちほ)  
国民生活センター／  
消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。  
なぜだまされてしまうのか? ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。  
「私だけは大丈夫!」なんて甘く考えてはいませんか? 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



プリペイド決済の便利さを悪用した  
トラブルが急増中!

近年若年層を中心にインターネットで音楽やゲームなどのデジタルコンテンツをダウンロードして購入することが日常的になってきました。その際、インターネットバンキングでの振込やクレジットカードのほか、最近その利便性から利用が広がっている新しい仕組みが、「サーバ型プリペイドカード」による電子決済です。

自分がチャージ(入金)した価値(お金やポイント)を管理会社のサーバ※で管理するもので、①入金された金額の範囲内でしか使えないため使い過ぎの心配がない、②審査が不要で誰でも使える、③インターネットやコンビニ、量販店などで購入でき、カード裏面に記載された文字列を入力するだけですぐに決済できる、などのメリットがあり、電子(デジタル)ギフト券としても利用されています。

しかし、こうした仕組みを十分に理解しないまま安易に利用し、トラブルに巻き込まれるケースが増えています。

## ポイント1 サーバ型プリペイドカードの仕組み

プリペイドカードにはいくつかの種類があります。テレホンカードや図書カードなど磁気で金額を管理する使い切りタイプや、交通系のSuicaなど、ICチップに金額や履歴を記録しチャージもできるICカードなどは私たちの生活にすっかり浸透しています。こうしたプリペイドカードはカードそのものが有価証券(金券)として使われているため、カードそのものが第三者の手に渡らない限り悪用されることはありません。

しかし、カードの価値(利用可能金額)がサーバで管理されているサーバ型プリペイドカードのカードレスのタイプでは、

※サーバ…ネットワーク上で他のパソコンなどに機能やサービスを提供するコンピュータ





カードは存在せず、インターネットの指定された画面に16桁の数字や文字を入力することで事前にサーバにチャージ（入金）されたお金が業者に支払われる仕組みとなっています。この16桁の管理番号そのものに価値があるので、第三者にプレセントとして番号を伝えて使ってもらおうという便利な利用法がある一方、管理番号が悪意のある第三者に知られてしまうと勝手に使われてしまうリスクがあります。

**ポイント2**

**どうしてこんなに簡単な手口で被害に？**

今回紹介した事例を簡潔にいうと「クレジットカードを限度額まで使い、さらにキャッシング枠いっぱいのお金を引き出して用意した電子ギフト券で、価値のないアクセサリーを悪質業者から買ってしまった」ということになります。いくらモデルの勧誘で気分が良くなったり、後で返金されると業者に言われたからとはいえ、60万円ものアクセサリーをこんなに簡単に購入してしまうものでしょうか。通常であればかなり怪しい話と感ずるでしょうし、そもそも社会人一年生なのに60万円という大金を借金すること自体、普通は思いとどまるはずです。

ここに現金をだまし取る詐欺ではなく、すべての決済が画面上で行える仕組みを悪用した詐欺の巧妙さがあります。

画面上での作業は、自分の購入した管理番号を相手のメールアドレスに送るだけですが、実際は業者にお金を振り込むことと同じです。すべて画面上で行われることから現実感が乏しく、またさまざまな登場人物が言葉巧みに誘導するため、被害者本人はこの契約の不審な点に気がつかず、自分が借り入れたクレジットカード会社からの請求が始まってから現実に取り戻され、「よく考えてみれば…」と被害に遭ったことを実感するのです。





この物語はフィクションです

**ポイント3**  
**管理番号が悪質業者に渡ると被害回復は困難**

この事例では、被害者が通販サイトで電子ギフト券を購入しますが、クレジットカードの利用限度額内であれば簡単に購入できます。また悪質業者にプリペイドカードの管理番号を渡すこと自体に違法性があるわけではありません。悪質業者はカードの管理番号を入手したらすぐに使ってしまうから、だまされたことに気づいた時には、カードに価値が残っていないケースがほとんどです。ただ、業者が営業所とは考えられない場所であくせそサリやエステの訪問販売に該当し、クーリング・オフの対象となる可能性が高く、この場合、契約内容を記した書面の交付を受けていて、その中には、商品が特定できるような品質等の記載があることが必要です。さらに「無料エステが受けられる」「キャッシュバックで負担はゼロ」などのセールストークが特定商取引法の不実告知に該当する可能性もありますが、多くの場合、業者と連絡が取れなくなってしまう、被害を回復することは極めて困難です。

こうした被害に遭わないためには、自分の財産に結びつくような情報を第三者に渡さないこと、そしてインターネットの活用においては、常に「現実感」をしっかりと持つことが大切です。

【詳しい情報や相談】

● 国民生活センター

[http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20150326\\_2.pdf](http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20150326_2.pdf)





# 新しさを

イノベーション

# ひろめる作法

暮らしや社会のさまざまな話題には、  
思いもよらない結びつきがあります。  
経済学者の性（さが）は、結びつきの背後にある  
カラクリを解き明かそうとすることです。  
そこにはよりよい暮らしや社会を考えるための  
ヒントが隠されています。  
この連載では、毎回キーワードを決めて、  
皆さんに、「くらしをあばく」経済学者の目線を  
大真面目に疑似体験していただきたいと思います。  
それでは、初回のキーワードは  
「イノベーション」です。

研究室のデスクを新調することになり、お  
あつらえをデザインして、知り合いの職人さ  
んに作ってもらった。それが次のページの写  
真のデスク。私の要望は、ガタつかない、足  
場に余裕がある、3人でパソコンワークでき  
る、論文を見ながらパソコンワークしやすい、  
そしてなによりも、世界に一つしかない、だ。  
その通りに仕上がったと思うのだが、いかが？  
職人さんは「こんな注文を受けたのは初めて」  
と、まんざらでもない様子。ならば世の中に  
はもっとヘンなニーズがいっぱいあろうから、  
オーダーメイド家具をネット注文できるよう  
にしたらどうか。しかし残念ながらこの職人

## 松島 斉（まつしま ひとし）

東京大学大学院経済学研究科教授  
経済学者。専門はゲーム理論。1960年東  
京都生まれ。1983年東京大学経済学部  
卒。1988年東京大学大学院経済学研究科  
博士課程修了。経済学博士。筑波大学社  
会工学系助教授、東京大学経済学部助教  
授などを経て、2002年より現職。アメリ  
カ・エコノメトリック・ソサエティー・フェ  
ロー。日本経済学会会誌（Japanese  
Economic Review）編集長。

さん、パソコンはさわれないわ、メールは打  
てないわ。で、この話は立ち消えた。

「イノベーション」とは、ときに「技術革新」  
などと翻訳されるが、もっと広い「新しい発見、  
発想、アイデアにより新しい価値を創造し世  
の中へ影響を及ぼす」といった意味がある。「新  
しさをもっと広めたい」。イノベーション・マ  
ニアの私はこのことを、研究・教育を長く続  
けるための原動力にしているが、そのルーツ  
はさかのぼること半世紀前、幼稚園での経験  
にある。

私は一時期休みがちだったので、母親は、  
幼稚園と同じことを私に家でいろいろさせて  
いた。中でも、トレーシングペーパーに絵を  
描いて、別の二枚に挟んで、透かして覗き込  
んで楽しむという工作を熱心に行っていた。  
そのうち、絵を重ねて立体感を出し、手です  
らしてアニメのように動かせる工夫をあみだ  
した。

その後、元気になって幼稚園に行くと、「疑  
似コイン」でみんなの作ったものを売り買い  
するイベント「バザール」の準備が始まって  
いた。私が立体アニメ透かし絵をみんなに見  
せると注目を浴び、男の子はこぞって似たも  
のを作り始めた。

すると、目立ちたがり屋の女の子が、透か  
し絵の専門店を作ろうと言いだした。普段は  
自分の楽しみだけで花の絵を描いていたような  
女の子が、花のディスプレイを演出し始めた。  
誰に言われることなくチラシ広告を黙々と作

る子も現れた。

こうして、お買いものごっこが、いつのまにか子どもたちのいろいろなアイデアを結集した「オープン・イノベーション」に発展し、「専門店」の売り上げを大いに伸ばす結果となった。今振り返ればこれが、経済学とかかわる私の原体験かもしれない。



イノベーションは、「コロンブスの卵」のような発明発見だけではなく、その周辺には文科系の発想にみちあふれた物語がある。このことだと思ひ出されるのが、産業革命時のアメリカの発明家イーライ・ホイットニー（1765～1825）の、一つのエピソードだ。

ホイットニーは、木綿から種と繊維を区分けする「綿繰り機」を発明した。綿花から種を手で取るのは大変な作業。しかし、綿繰り機のローラーに綿花を近づければ、いとも簡単に種から繊維を巻き取ってくれる。アメリカ南部は、黒人奴隷にこの作業をさせることで、急速に経済発展することになる。同時に、綿繰り機の発明は、南部に奴隷制度を根付かせ、ゆくゆくは南北戦争勃発のきっかけになっていく。

ではホイットニーはさぞかし財を成したかと思いきや、むしろ大損するはめになるのだ。ホイットニーの発明は、「コロンブスの卵」ではあれ、仕組みはいたって簡単な代物だったので、他の業者が模倣品を作ってどんどん儲けてしまった。ホイットニーは、それを阻止するための裁判をおこしたが、費用がかさみ、破産寸前に追い込まれてしまった。

これでは発明家はうかばれない。パテント（特

許）制度を強化し、厳格に執行することで、発明家をもっと保護してあげてはどうか。発明家自身も、模倣されないように、あらかじめ似たような技術についてもパテントを取得して、もっと防衛策を講じてみてはどうか。そうすれば、アイデアにあふれた発明家は大いにやる気を出し、一国の経済成長を支えていくのではなからうか。

ところが逆に、発明家がパテントを盾に権利を主張し過ぎ、せっかくの発明がちっとも広まらない、という史実にも枚挙にいとまがない。たとえば、蒸気機関のジェームス・ワット（1736～1810）は、発明のパテントを守るために、他人が改良を加えることを厳しく監視したといわれる。

そこで、ワシントン大学の経済学者ボルドリンとレヴィンは、あらゆる産業の歴史データを集めて、パテントを強化したことが経済成長に寄与したかどうかを実証してみた。結果は、「パテント強化はイノベーションの邪魔になる」だそう。新しさを広める作法を読み解くカギは、どうやらここにはなさそう。

では、イノベーションを促進させる具体的な手立ては何なのか。その答えは、ホイット

ニーのもう一つのエピソード、「マスカット銃規格化」に見出される。



アメリカ政府は、破産寸前のホイットニーに、マスカット銃の大量生産を依頼した。ホイットニーは、銃を複数の「部品」に分け、各部品を徹底的に規格化して、別々の工場で大量生産できるようにした。このような、互換性のある部品をあとで組み合わせる生産方式の発案は、綿繰り機と同じ轍を踏みたくなかったの思いとともに、現代のイノベーションの原型となっていく。購入者は、部品を交換すれば、ホイットニーの銃をずっと使い続けることができるのだから、もはやライバル業者の銃には見向きもしない。ならばライバルは部品を模倣しようとするも、ホイットニーの規格通りでなければ安全が





担保されない。

こうして、ホイトニーには注文が殺到し、各部品工場はフル操業になり、大量生産によってさらに安価に製造できるようになっていく。ホイトニーの一人勝ちだ。

もう一つ忘れてならないのが、個々の部品はそれだけでは価値がないこと。部品工場の人々は、ホイトニーに付き従うことによってはじめて生計を立てられるというわけだ。

■ ■ ■

さて、現代のイノベーションといえばCD、VHS、DVD、最近ではBluetooth、MPEG-4など。これらの共通項は、複数の会社がパテントを出し合って、それらを組み合わせる一つの規格を作っている点にある。

個々のパテントはそれだけでは価値がない。パテントのライセンス（利用許可証）は、ひとまとめにして「パッケージ」化されて、規格を利用したい者に販売される。販売元は「パテントプール」と呼ばれる、パテントを持つ会社からなる企業合同（アライアンス）だ。

規格を利用したい者は、個々の会社から直接ライセンスを購入するよりも、パテントプールからパッケージを買った方がお得である。パテントを持つている会社は、自分のパテントのライセンスがないと相手は規格を利用できないことをよく知っている。だから、足元をみて、法外なライセンス料を請求しがちだ。これでは規格の普及を妨げてしまう。そうならないようにパテントプールは、全パテントのライセンス料をきちんとコントロールして、安価で提供できるように規格の普及に努めている。

「パテント」を「部品」に、「パテントプール」を「ホイトニー」に置き換えれば、そのままマスケット銃規格化の成功を説明できよう。ただ、順序は逆だ。ホイトニーは、もともと一つだった製品を、複数の部品に分解することで、イノベーションに成功した。それに対し今日では、大学、研究所、大企業、中小企業、ベンチャーが生み出した、独り立ちできないたくさんさんのパテントの中から、よい組み合わせをうまく見つけ出すことによって、新しい規格ビジネスが形づくられるようになっていく。

■ ■ ■

こうした規格ビジネスにおいて、今後、世界を股にかけて、イノベーションの元になる新しいパテントを生み出す可能性があるのは、大企業よりも、ベンチャーだと考える。では、現状において、日本のベンチャーに対する海外の評価はどうかといえば、シンクタンクの調査結果などを見ても、どうも芳しくなさそうだ。

パテントを扱うアメリカの業者へのアンケートによると、「日本のベンチャーは表舞台に出てこない。日本企業の国内特許数は多いが、必ずしも質が良いわけではない」と、ずいぶん辛らつ。しかし鵜呑みにするのは待ってほしい。日本企業が保有するパテントの世界進出を求めるアンケート回答者の中には「パテント・トリール」とおぼしき業者もいるからだ。

■ ■ ■

「トリール」とは「妖怪」とか「流し釣り」といった意味。パテント・トリールとは、保有しているパテントを技術として利用するのではなく、そのパテントを利用していかもしれない他の

会社に対して、「あなたは私のパテントを無断利用している。賠償金を請求するぞ」と脅して生計を立てている業者のことだ。タチの悪そうなのこの人たちは、アメリカで社会問題になっている。アンケート結果は、パテント・トリールを恐れて海外進出に弱腰になっている日本企業に「開国」を求める声ともとれる。

いずれにしても、現代社会において、パテントの権利を管理していくことは難しくなっているのは間違いないさそうだ。パテントの管理を専門に行う業者にパテント本体を売ってしまう、というのも一案だ。この意味では、パテント・トリールも、パテント管理業者の一つであり、社会の「必要悪」として生き延びるかもしれない。

■ ■ ■

昨今の各大学には、「TLO (Technology Licensing Organization)」という組織ができていく。大学内の研究成果をパテント化して、民間企業のビジネスに結びつけようとする試みだ。しかし経済学者の私としては、大学の研究成果を「パテント」という眼鏡でしか見ていないTLOにひとこと言いたい。パテント化の対象になりにえない文科系や経済学の知見にも、社会やビジネスに貢献しうるものが多いにあるのだ。

■ ■ ■

では具体的に、経済学に何ができるのかって？その答えは次回にお預けとしよう。今回のキーワードは「オークション」。オークションという名の「値付けの魔術」が、予想もしないスケールで、暮らしや社会に影響を与えていることをお話する。

# 学び続けるための教育資金 〜教育資金の事前準備と奨学金〜

教育は無形の財産ともいわれます。将来、子どもたちがなりたい職業に就いて、社会の一員として働くための「投資」となる教育資金。  
親が準備する資金も、奨学金を利用することで子ども自身が負担する資金も、どちらも貴重なもの。  
「生きたお金」として活用していきたいものです。

## 教育費はいくらかかる？

まず、教育費がいくらくらいかかるのかについて整理しておきましょう。

平成24年度「子供の学習費調査」(文部科学省)(表1)によると、「学校教育費」「学校給食費」「学校外活動費」を合わせた1年間にかかる「学習費」の平均額は、公立の場合、小学校31万円、中学校45万円、高校(全日制)39万円となっています。

同調査の「学習費」には、授業料のほか、修学旅行、学校納付金等(入学金、学級・児童会・生徒会費、PTA会費等)、学校給食費、

学習塾費や家庭教師費、習い事等も含まれます。私立は公立に対し、幼稚園で2.1倍、小学校で4.7倍、中学校で2.9倍、高校で2.5倍と、高額です。

近年、公立高校の学費が下がりました。「高等学校等就学支援金制度」が整備されたことで、公立高校の年間授業料11万8800円が無料になり(所得制限あり)、より負担の大きい私立高校は所得に応じて公立の最大2.5倍までの免除が受けられるようになりました。また、2014年度からは、低所得層向けの給費型奨学金「高校生等奨学給付金制度」も新設されました。

一方、大学でかかる学費は、日本政策金融公庫平成26年度「教育

費負担の実態調査」のデータで見ると、国公立か私立か、自宅通学か自宅外か、文系か理系かなどによって学費は異なります(表2)。

4年間の学費は、国公立大学で自宅通学では511万円ですが、私立大学の理系の学部で自宅外通学の場合は1304万円と幅があります。また、医歯薬系や芸術系などもっと学費がかかる学部もあります。

データには、受験費用や学校納付金、入学しなかった学校への納付金、授業料・施設設備費等学校納付金、教科書代、通学費、習い事等の費用が含まれます。自宅の場合、自宅外通学を始めるための費用や、その後の送り分も含まれます。自宅と自宅外では、

## 親にできること 〜教育資金は中学卒業までに準備を

教育費は幼稚園から大学まですべて国公立で自宅通学の場合であれば約1000万円、すべて私立で大学が自宅外の場合であれば約3000万円かかります。合

国公立でも私立でも学費が2倍近くかかることも分かります。

制度の変更で低下した高校の学費を除き、教育費は下がる傾向が見られず、計画的に準備をしておくことが重要です。また、大学在学中には、資格を取得するために専門学校とのダブルスクールをしたり、海外留学などでさらに学費がかかるケースもあります。

## 豊田 眞弓 (とよだ まゆみ)

日本FP協会会員、子どもマネー総合研究会会長、親の介護・相続と自分の老後に備える.com(主宰)、早稲田大学政治経済学部卒。  
経営誌や経済誌のライターを経て、94年より独立系FPとして活動。現在は、個人相談業務を行うほか、講演などでも活躍。新聞や雑誌、サイトなどに連載を含む多数のマネーコラムを寄稿、雑誌などでは記事の監修やアドバイスなども行う。ライフワークとして子どもと大人の金融教育にも携わる。



表1:子どもの学習費総額

(円)

区 分	幼稚園		小学校		中学校		高校（全日制）	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立
学習費総額（年額）	230,100	487,427	305,807	1,422,357	450,340	1,295,156	386,439	966,816
うち学校教育費	131,624	340,464	55,197	822,467	131,534	997,526	230,837	722,212
うち学校給食費	17,920	26,891	42,035	40,229	36,114	3,380	—	—
うち学校外活動費	80,556	120,072	208,575	559,661	282,692	294,250	155,602	244,604
合計 （小学校6年間、他は3年間）	690,300	1,462,281	1,834,842	8,534,142	1,351,020	3,885,468	1,159,317	2,900,448

資料:文部科学省「子供の学習費調査(平成24年度)」をもとに執筆者作成

表2:大学4年間でかかる費用の目安

(万円)

区 分		入学費用 ※1	在学費用 (年額) ※2	自宅外通学を 始める費用 ※3	仕送り (年額) ※4	4年間 合計
国公立	自宅	83	107	—	—	511
	自宅外			45	118	1,028
私立	文系	104	147	—	—	692
				45	118	1,209
	理系	110	169	—	—	788
				45	118	1,304

※1:受験費用、学校納付金、入学しなかった学校への納付金  
※2:授業料・施設設備費など学校納付金、教科書代、通学費、習い事等の費用  
※3:アパートの敷金、家財道具の購入費等  
※4:自宅外通学者への平均仕送り額  
資料：日本政策金融公庫「平成26年度 教育負担の実態調査結果」をもとに執筆者作成

計額を見ると非常に大きな金額で、準備ができるか不安になってしましますが、大事なものは、私立に進学する場合や大学時代などの教育費がピークになる時期に向けて「毎月の家計でまかなうことが難しい金額」を蓄えておくことです。

親としてできることは、家計のバランスを崩さない範囲で一定の教育資金を準備しておくことです。教育資金は、子どもが産まれたら「積立」をスタートし、細く長く貯蓄することが確実な方法です。

大事なのは、目標額をいくらにするかですが、それは「どんな教育を受けさせたいのか」ということにも関わりますので、子どもが幼いうちにイメージだけでも夫婦で話し合っておくとよいでしょう。一つの目安として図で目標額を提示しましたが、自分の「手が届く目標額」を設定することが達成のポイントです。高すぎる目標額を設定しても達成できなければ意味はありません。

子どもが小さいときはまだ進路の想定が難しいものですが、「将来、子ども自身が希望したら大学や専門学校に行かせてあげたい」と考えるのであれば、まずは300万円程度を目安に貯め始

めるとよいのではないのでしょうか。家計が厳しい場合は、目標額や積立額を下げてでもとにかく準備を始めることが重要であり、それが子どもの将来の選択肢を広げることになります。

貯め終える「ゴール」となる時期は、中学卒業までが理想です。何よりも中3までは児童手当があります。現行の制度のままであれば、(所得が一定以下の場合)児童手当だけで200万円近く貯めることができるため、これにたとえばお年玉でいただいたお金の一部を足すなどしてさらに親自身

が積立をプラスすれば、300万円以上の金額は貯めることができます。高校卒業後の教育資金を中学卒業までにある程度貯め終えれば親としても気持ちはラクですし、高校では本格的に塾代などもかかる貯めにくなるうえ、親もどこかのタイミングで自分たちの老後資金の準備に切り替えなくてはならないため、中学卒業までに教育資金の準備を終えることは大事です。また、前倒しのペースで貯めれば、中学から私立へ進むなど進路の変更があった場合にも柔軟に対応しやすくなります。

金融商品を利用する場合は、天引きや振替などで確実に貯まる

仕組みを利用するとよいでしょう。職場の「財形貯蓄」や銀行の「自動積立定期」・生命保険会社の「子ども保険(学資保険)」などが挙げられます。インフレリスクに備える目的で投信積立などリスクのある商品を取り入れる場合は、万が一、元本割れが生じてても、教育プラン全体に影響が出ないよう、投資額は教育資金の目標額の1/3割に抑えましょう。また、投信積立では2016年に導入される予定の「ジュニアNISA(少額投資非課税制度)」も活用できます。

大学在学中の資金プラン  
をシミュレーション

今の教育資金の目標額で4年間の学費がカバーできるかどうか不安な人は、「大学在学中の資金プラン表」(表3)でシミュレーションを試みましょう。足りない分の手当てを考えるきっかけにもなります。これは、高校生だけでなく、子どもが幼い時期でも教育資金の目標額を確認するのに有効です。

事例は国公立大・自宅外通学で、用意した教育資金は400万円。家計から月6万円の仕送りができる場合でシミュ

表3:大学在学中の資金プラン表 (万円)

国公立・自宅外通学で 貯蓄400万円、家計から 月6万円出せる場合		1年目	2年目	3年目	4年目
年間学費 (表2参照)		353	225	225	225
収入	家計から	72	72	72	60
	アルバイト	36	36	36	
	奨学金(月5.1万円)	61.2	61.2	61.2	61.2
	教育ローン				
	合計	169.2	169.2	169.2	121.2
貯蓄	400	216.2	160.4	104.6	0.8

年間学費：日本政策金融公庫「平成26年度 教育費負担の実態調査結果」より試算

レーションしたものです。日本学生支援機構の第一種奨学金(後述)を月5万1000円借りて、アルバイトを少しすれば何とかなることが分かります。アルバイトが厳しい学部などの場合は、奨学金の額を増やすことになります。

このシミュレーションは中学・高校生になったら親子で話し合いながら作成し、子ども自身に自分が学ぶのにかかる金額を自覚させ、そのお金を無駄にしないために自分は何ができるかを主体的に考え





させることが大事です。奨学金を利用する場合は、原則子ども自身の借金となることなども伝える必要があります。

また、アメリカでは、学生自身が奨学金を利用したり、夏季休暇中にアルバイトをして学費を稼ぎ、「自己投資」として必死に学んでいるという話などを紹介すると、自己研鑽への自覚が強まるのではないのでしょうか。

資金不足は学生自身が奨学金で補う

準備した教育資金と家計からのサポート等で不足するときは、奨学金や教育ローンに頼ることになります。日本でもなんらかの奨学金を利用する学生が半数を超え、特別なことではなくなっています。

奨学金には、貸与型と給付型があります。貸与型奨学金の代表が日本学生支援機構の奨学金で、無利子の「第一種」と有利子の「第二種」(在学中は無利子)のほか、所定の条件を満たせば「入学時特別増額奨学金」(有利子)も利用できます。いずれも保護者の所得制限があります。「第一種」は評定(学校の成績)平均3.5以

上で申し込めますが、全員が採用されるわけではありません。また、「第一種」採用者の一部には、収入が一定額を超えるまで返還が猶予される「所得連動返還型無利子奨学金」も適用されます。

日本学生支援機構の奨学金は、進学の前年に高校を通じて申請する「予約採用」と、入学後に大学の窓口で申請する「在学採用」とがあります。利用する予定なら、高校3年の時点で予約をしておくといでしょう。

そのほか、大学独自の奨学金や、自治体、民間の育英団体や公益法人、企業などで奨学金を設けているところもあり、給付型も貸与型もあります。近年では、大学が優秀な学生を集めようと授業料減免制度や給付型奨学金を充実させる傾向がみられます。たとえば早稲田大「めざせ！都の西北奨学金」や、慶應義塾大「学問のすゝめ奨学金」では、地方出身者で成績要件等を満たす学生が事前に申請をすると、合格と同時に奨学金の給付も決まります。こうした予約型の給付型奨学金も増えつつあります。

奨学金の情報は、入学時に大学から冊子が配布されるほか、学生課などで確認できます。ただし、給付型奨学金の多くは成績重

表4:日本学生支援機構の奨学金(四大の場合、2015年度)

			第一種奨学金 (所得連動返還型無利子奨学金も含む)		第二種奨学金		入学時特別増額貸与奨学金	
利息			無利息		利率固定0.69%、利率見直し0.2%(2015年5月貸与分)。 割増融資は適用利率+0.2%			
貸与月額	国立	自宅	4万5000円		3、5、8、10、12万円。 ※私立医歯16万円、 私立薬・獣医14万円も可。	1回のみ。 10、20、30、40、 50万円		
		自宅外	5万1000円					
	私立	自宅	5万4000円					
		自宅外	6万4000円					
	共通		上記または3万円					
成績基準	予約採用		高校1年から申込時までの 平均値3.5以上など。		高校の成績が平均水準以上など。		高校の成績が 平均水準以上など。	
	在学採用		1年次は高校2・3年の成績が3.5以上など。 2年次以降は大学での成績が学部 (学科)の上位1/3以内など。		出身校または大学の成績が 平均水準以上など。			
家計基準※	年収・所得上限額		給与所得	自営業など	給与所得	自営業など	給与400万円以下程度か、 「国の教育ローン」が 利用できない人。	
	予約採用	第一種・第二種のみ	781万円	349万円	1,124万円	692万円		
		第一種・第二種併用	720万円	306万円	――	――		

※年収・所得の上限額は4人家族の目安。在学採用は進路によって細かく上限額が設けられている。

視となっています（保護者の所得制限があるものも）。有利な奨学金を利用したのであれば、一定以上の成績を維持する努力は必須です。また、給付型でない限り、奨学金はあくまでも学生本人の借金です（保証人になれば保護者にも返済義務があります）。返済に無理がないことも確認したうえで利用しましょう。

## 教育ローンは最後の手段

所得基準などの関係で貸与型奨学金が利用できないときや、入学金や学校納付金などの一時金が不足する場合には、教育ローンが助けになります。公的ローンの日本政策金融公庫「国の教育ローン」は比較的低利で借りられ、在学中は元金据置で金利だけの返済も選択できるのが特徴です。ただし、世帯の所得制限が設けられていて、それよりも高いと利用できないこともあります。

民間の教育ローンとしては、銀行や信用金庫、信用組合、労働金庫、JAバンク、ノンバンクなどが扱っています。進学シーズンになるとキャンペーンと称して優遇金利を打ち出します。民間の教育

ローンは比較的審査が早く、適用金利や審査基準などは金融機関で異なるなどの特徴があります。

前述の通り、奨学金は子どもの借金ですが、教育ローンは保護者の借金です。教育ローンを利用せざるを得ない場合は、老後に支障のない範囲にとどめましょう。

親は事前の教育資金の準備に

励み、学生本人も無理のない範囲で奨学金を利用して一部を負担し、今は親子で協力して学費を捻出する時代といえそうです。保護者の準備してくれた資金も奨学金も貴重なお金。学生はこうした資金を「生きたお金」とするよう、しっかりと学び、充実した学生生活を送ってほしいものです。

表5:国の教育ローン

商品名		国の教育ローン(教育一般貸付)
取扱機関名		日本政策金融公庫
融資条件	融資限度額	学生1人につき350万円(海外留学含む場合450万円)
	融資対象	学校納付金(入学金、授業料、施設設備費など)や受験費用、受験料、受験時の交通費・宿泊費など、住居にかかる費用(アパート・マンションの敷金・家賃など)、教科書代、教材費、パソコン購入費、通学費用、修学旅行費用、学生の国民年金保険料など
	金利	固定2.15% [母子家庭または世帯年収200万円(所得122万円)以内は1.75%](2015年5月現在)
	対象校	短大、大学、大学院、高校、高専、専修・各種学校、予備校 外国の高校、高専、短大、大学、大学院(原則6ヵ月以上の留学)など
	年収上限	子1人は夫婦の合計(=世帯)年収790万円(事業所得590万円)、 子2人は同890万円(680万円)、子の数で遁増。 特定要件を満たせば、同990万円(770万円)まで緩和
	保証	連帯保証人1人以上、または教育資金融資保証基金の保証が必要 (基金保証は保証料がかかる)
返済条件	返済期間	15年以内 [交通遺児家庭や母子家庭、世帯年収200万円(所得122万円)以内の方は18年以内]
	元金据置	在学中は元金据え置きで利息のみの返済とすることもできる (ただし、返済期間に含まれる)

## 海外留学費用は 給付型奨学金を狙え!

海外留学は大学側も促進する傾向にあり、学部によっては初めから留学が単位に含まれていたり、交換留学中に留学先で取った単位も卒業単位として算入できる大学も増えつつあります。国もグローバルな人材を育成しようと、留学に対する給付型の奨学金を充実させています。

留学にかかる費用は、どの国のどの大学で、どれくらいの期間、何を学ぶのかなどで大きく異なります。自費で欧米の全寮制の大学などに入ると年400万、500万円かかるといわれますが、大学の交換留学などであれば渡航費と滞在費の負担だけで済むような留学の形もあります。

留学を検討する際は給付型奨学金を上手に活用したいもの。注目は企業への寄付を財源とする官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」日本代表プログラム。書類審査や面接審査などで選考されます。また、日本学生支援機構の「海外留学支援制度」という給付型奨学金も注目です。このほか、外国政府による給付型奨学金や、自治体や民間団体による給付型・貸与型の奨学金もあります。奨学金の情報は、日本学生支援機構が運営する「海外留学支援サイト」に整理されています。

奨学金以外では、「国の教育ローン」が利用できます。留学資金なら450万円まで借りられますが、保護者の老後にしわ寄せがいかないうちの利用は必要最小限にとどめましょう。



### 公益財団法人 生命保険文化センター

## 金融・保険リテラシーの向上に向けた 生命保険の基礎教育充実への取り組み

生命保険文化センター（以下、当センター）では、消費者が各人の生活設計に合わせて生命保険を適切に活用できるよう、講師派遣、ホームページによる情報提供、消費者向け小冊子・学校向け副教材の出版等、中学生から高齢者までの幅広い層に対して啓発・情報提供活動を行っています。

#### 1. 学校教育支援活動

大学・高校等の講義・授業に当センターの職員を講師として派遣し、「実学講座」を実施しています。この講座は、生活設計や生活保障の必要性、生命保険の役割や機能について学ぶ機会を提供し、学生が将来生命保険と向き合ったときに適切な判断ができるよう、実践力を身に付けてもらうことを目的としています。実学講座は1981年から継続していますが、特に近年実施数が増加しています。

また、学校教育用の副教材や副読本等を提供しています。副教材のひとつ「生活とリスク管理」は、生命保険の仕組みや役割等、これから社会

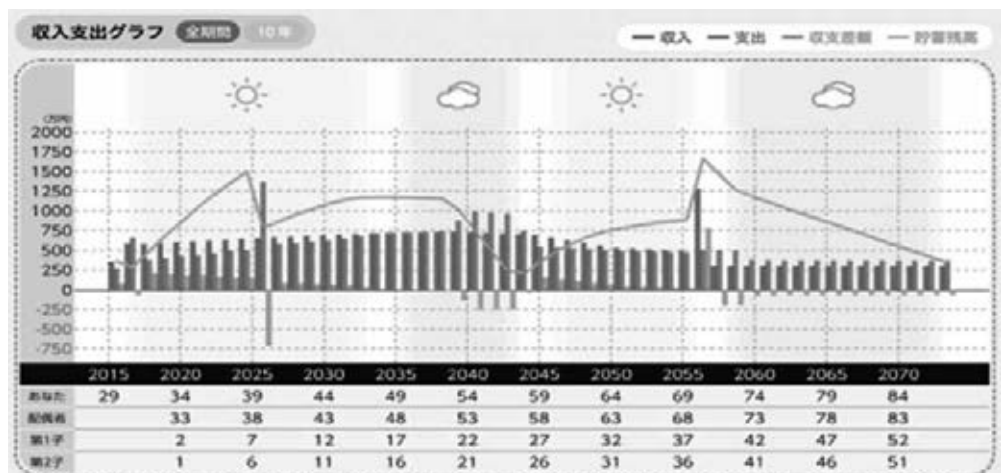
人となる学生に一度は学んで欲しい基礎的な内容を、イラストを交えてわかりやすく解説しているもので、大学生向けの実学講座のテキストとしても使用しています。

#### 2. 生活設計を立てるための 支援ツールの提供

ライフステージに応じたライフプランを考えることをサポートするWEB上のツール「e-ライフプランニング」を、当センターのホームページ上で提供しています。このツールは、就職、結婚、出産等様々なライフイベントを迎える時期に、夢や目標とその実現のための計画を考え、現在の家計の状況を正確に把握し、将来のリスクやその備えについて考えるためのサポートツールです。生年月日等の基本情報とともに具体的な収入・支出項目を入力することで、自分自身の現在のライフステージにおけるライフプランが簡単に作成できます。幅広い層の方々に活用いただけるシミュレーションツールですので、ぜひご利用ください。



副教材「生活とリスク管理」



「e-ライフプランニング」ライフプラン出力画面イメージ

# 新パンフレット

金融広報中央委員会では、『大学生のための 人生とお金の知恵』という新しいパンフレットを作成しました。

# 大学生のための 人生とお金の知恵

大学生になってから、アルバイトをしたり、生活費を自分で管理するなど、  
社会と密着かかわる機会が増えたのではないでしょうか。

大学時代は、人生のデザインを描き、  
社会人として自立する能力を確立する時期です。

就職という、人生における重要な意思決定も、身近に迫っています。



「一生涯の人生」  
「多岐な選択したい」  
「知識で自立したい」  
「社会で成功」

本書は、大学生の方に、人生とお金の知恵を紹介します。  
人生とお金の関わりを切り離せません。人生は不確定です。  
先を行くうえで役立つ人生とお金に関する知恵を、基本から順次紹介します。  
学生時代に身につけておけば、今後の人生で、派手に活用することができます。

2015年10月27日(水) 3月  
金融広報中央委員会

金融広報中央委員会 編集長、日本銀行副総裁・三好 浩、独立行政法人経済産業研究所 所長に、郵政省副総裁・海老蔵 敬典、政府、日本銀行、地方自治団体、民間団体等と協力し、中立的・公正な立場からの提供を心がけています。『金融経済消費者の便覧』と、一人ひとりが賢く、消費者として自立するための『金融経済消費者の便覧』を併発的に提供しています。

金融広報中央委員会では、2015年3月、『大学生のための人生とお金の知恵』というパンフレットを新たに作成しました。

このパンフレットは、大学生に向けて、生きていくうえで役立つ「人生とお金」に関する知恵を幅広く紹介したものです。

今号は、前編として、本書でどのような「人生とお金」に関する知恵を身につけることができるか、その全体像をご案内します。

本書は、「人生のデザインとお金」、「お金の知恵」、「不確実な人

生に船出する」の三部から成ります。

大学生に対し、まず、「人生のデザイン」を描くこと、人生における「お金」の問題と向き合うことを勧めています。

次に、今後の人生で長く活用できる「**お金の知恵**」を、基本から幅広く紹介し、身につけていただきます。

最後に、「不確実な人生に船出する」うえで、ぜひ知っておいていただきたい知恵を紹介しています。

第一部「人生のデザインとお金」では、まず、**高校卒業までに**

自分にどのくらいのお金がかかっ

たか、考えてみます。多くの人が、多額のお金がかかっていることに驚きます。さらに**大学**でも多くのお金がかかることを示します。

これらを通じ  
て、**お金**に関する

る現実的な感覚を養い、大学で能力を高めることの大切さを理解することを期待しています。

次に、生涯の支出と収入のイメージを描いてみます。人生の「三大支出」（教育、住宅、老後）の金額の大きさを知るとともに収入は働き方などによって大きな差があることを理解します。

また、「働くこと」と「収入」との関係を考えることからスタートし、「働くこと」と「社会」との関係（世の中全体としてのくらし）が良くなること）や、「自分の幸せ」との関係（夢の実現、人生の充実感など）についても考えてみます。

そして、**人生のデザインを描く**ことの大切さを理解し、自分の人生で「ぜひ実現したい」と思うことを書き出してみます。

「人生における重要なことの多くは、30歳までに発生する」といわれます（職業選択、結婚、最初の子どもなど）。これを踏まえ「30歳のときに、どんな自分になっていたいか」を考えます。そして、30歳までの行動プランを書いてみます。とくに大学卒業まで



の行動プランは、具体的に書いてみます。

大学生には「時間」という資源が豊富にあります。能力を大きく伸ばすことができる時期です。「時間」を「能力」という資源に変換できるよう、時間の有効な使い方を考えます。

## Ⅱ お金の知恵

第二部「お金の知恵」では、お金とうまくつきあいながら生きていくために必要な知恵を身につけます。

まず、お金の機能や特徴を理解することから始めます。

「お金」は人々の「信頼」に依存すること、お金には「価値を貯蔵する」機能がある（ただしインフレには弱い）こと、「複利」（利子にもまた利子がつく）の威力は大きいことを学びます。お金が2倍になる期間を暗算で簡単に計算する方法も身につけます。

同様に、貯蓄、支出、運用、借入れ、保険など、お金のさまざまな扱いに関して、多くのコソを紹介しています。人生で長く使える知恵です。



## Ⅲ 不確実な人生に船出する

第三部「不確実な人生に船出する」では、人生の不確実性というリスクに向き合い、自分らしく適切に意思決定していくための知恵を学びます。

たとえば、リスクなくしてリターンは得られない、といった

「リスクとリターンの関係」を理解し、幸せを実現するために、リスクをコントロールしながらチャレンジしていく姿勢を学びます。

また、損失を回避・予防・軽減すること、損失に備えて貯蓄と保険を使い分けることについても学びます。さらに社会全体として不確実性に備える仕組みとして、

社会保障（社会保険、社会福祉、公的扶助）の基本を理解し、お金に関するトラブルを避けるための知恵も身につけます。

**本パンフレットを  
ご利用いただくには**

本パンフレットは、当委員会のホームページ（知るぽると）

<http://www.shinsho.jp/> でご覧いただけます。冊子をお読みになりたい場合、左記の宛先にメールまたはファックスにてご連絡ください。

当委員会では、本パンフレットを使って大学における講義等（新入生向け説明会等を含む）を実施しています。大学の先生や金融関係団体が活用くださる例も増えています。

大学などで教材、勉強会資料等として使用いただける場合、希望部数を送付します（無償）ので、左記あてにご請求ください。



こちらからPDF  
ファイルをダウンロード  
することができます。

宛先：金融広報中央委員会 刊行物担当

●メールアドレス  
books@saveinfo.or.jp

●FAX 番号  
03-3510-1373

件名：刊行物請求

記載事項：①申込者氏名、②郵便番号、③送付先住所、④電話番号、⑤本パンフレットの名称（「大学生のための 人生とお金の知恵」）、希望部数、⑥利用目的、利用日、⑦その他連絡事項

# 金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、埼玉県春日部市立中野中学校教諭・小谷勇人先生が前任校の同市立豊春中学校において、公民の授業で取り組んだ金融教育についてご紹介します。

※小谷先生は、この実践をまとめた小論文で、金融広報中央委員会主催

「第11回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」(2014年)「実践報告部門」特賞を受賞されました。

## 社会科教諭として 「経済分野を魅力的にしたい」

「生徒の反応がいまひとつだな...」。  
小谷先生は教員生活3年目で初めて  
公民の経済分野を指導したとき、率  
直にそう感じたそうです。生徒たちの  
「経済の学習って難しい...」と戸惑う  
表情を見て、もっと魅力的な授業展  
開が必要だと考えました。以来、経  
済をテーマにした魅力的な授業の構  
想を温め続けていました。

その2年後、前任校が全国銀行協  
会の「金融経済教育研究指定校」に  
選ばれたことをきっかけに、小谷先  
生はお金のシミュレーション・ゲー  
ムを授業に取り入れる機会を得ま  
す。そこで得た「経済分野の学習に  
は体験的な活動(シミュレーション)  
が効果的」という感触が、新しい

教材開発に取り  
組む大きなヒン  
トとなりました。

その際に小谷先  
生が注目したの  
が、起業家教育  
を基本としたカ  
リキュラムです。

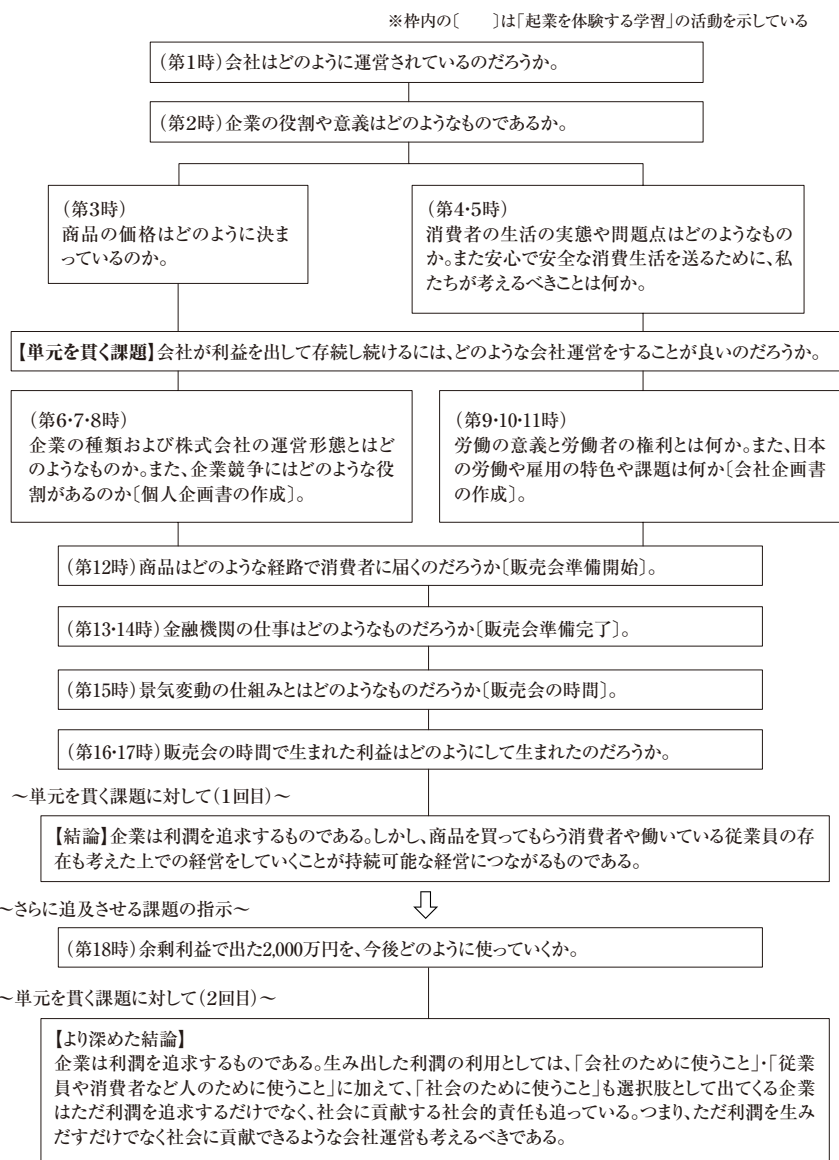
「21世紀の日本  
をたくましくリ  
ードするチャレンジ  
精神旺盛な人材を  
育むことが求めら  
れている今、義務  
教育の完成段階に  
ある中学校3年生  
の授業で起業家教  
育を取り入れることは、非常に意義  
があると考えました。学習指導要領  
にも明記されている生徒たちの『生  
きる力』を育む教育としても、課題



埼玉県  
春日部市立中野中学校  
小谷勇人教諭



【図1】単元の構想図



## 「起業を体験する授業」の実践

小谷先生の起業家教育とは、まさに「起業を体験する授業」でした。

1単位時間の半分ずつを使い、「教科書を活用しての学習」と「体験的な起業の学習」の2本立てで

授業を構成。その2部構成が相互に関連する内容であることはもちろん、前後の授業ともリンクさせ、より理解が深まるよう綿密な計画が立てられています。【図1】

たとえば、計18時間の授業計画は、中学校第3学年で履習する社会科公民的分野の経済分野の学習指導要領に準拠しており、それに加えて、小

谷先生のオリジナル教材「中学校から会社をつくろう」を副教材に体験的な起業の授業を行いました。【図2】

「体験的な起業」では実際に仮想の会社づくりを体験します。どういう会社をつくるのか、まず生徒が自分で考えた企画をプレゼンテーションし、企画の賛同者を集めてグループ（会社）をつくり、出資者を募り（メンバー

で1人1000円を拠出。

そのため保護者向けに説明会も実施）、商品を製造し、地域の人たちを集めて販売会を開催するまでが一連の流れです。

「まず、18時間の授業が生徒の記憶に鮮明に残るよう、構成には工夫に工夫を重ねました。実は、この構想を練り始めた数年前から、生徒たちが授業の中で常に合議制で活発な討論ができるような場を設け、話し合いのコツや周りの意見を聞いて自分かどのよう判断するかの特訓もしていたのです。実践がうまく展開できたのは、そういう下地も大切だったと感じますね」。



【図2】小谷先生のオリジナル資料

### 「中学校から会社をつくらう」

みなさんは将来どのような職業につきたいですか？様々な道が考えられますが、「会社に勤める」という選択肢とともに「会社をつくる」という選択肢を考えたことはありますか？

今日から「中学校から会社をつくらう」という経済についての学習を行います。実際に会社をつくり商品やサービスを生み出し、販売までを中学校の体育館を使って行います。

### 「これは大変なことになってきた！！」

さあ、中学校から自分だけの会社を作って大きな夢を追いましょう。そして実現しましょう！  
※利益はかった費用を差し引き、みんなで募金する場所を3学期に決めて寄付することになります。

#### SCENE1 どのような会社をつくる？

私の会社は（ 商品を生み出す ・ サービスを生み出す ）会社になりたいと考える。	
にどのような商品・サービスを提供します	
ねらいとする顧客	
大きな特徴	
何人くらいの従業員が必要か	

※生み出す商品・サービスの注意

- ① 1つの会社につき1つの商品・サービスとする。
- ② 商品やサービスは自分たちで提供できるものとする。（飲食物は不可）
- ③ 商品は学校内で製作可能なものとする。
- ④ 基本的に商品の作成に関しての居残りはできないものとして考えること。
- ⑤ なるべく元手となるお金をかけない方法を考えること。

売れる自信は（ ある ・ ない ）

1

## 周囲も「そこまでやれる中学生」に感心

小谷先生はカリキュラム実践の1年以上前から具体的な準備を始めました。地域で起業している人から情報収集を行ったり、起業家教育に力を入れている全国の大学教授などに話を聞きに行き、起業家教育の学術的なテーマや意義について議論を交わしたこともあったそうです。

その地道な活動の結果、地元起業家の講演会をはじめ、地元の大學生が起業している実際の企業「有

限会社かいしゃごっこ」の全面的な協力による授業や、販売会で販売する商品やサービスの本格的な技術指導も行われました。

学校、保護者、地域の理解・協力を得て行われた販売会には、大勢の人が集まり、マスコミの取材も入るなど大盛況のうちに終了。小谷先生は「実際に会社をつくった人の話を聞く体験は生徒たちにとって印象的だったようですし、商品も、プリントタオルなど大人が普通にお金を出して買いたくなるものを実際に作って売ることができました。大人たちから『中学生がここまでやるんだな』と高

#### SCENE5 会社としての事業計画書をまとめよう。

会社名	会社のロゴ	
資本金	人×1000円＝ 円	
社長名		
従業員名 (必要なのは増やしてください)	副社長 仕入れ	会計 製作代表
		広報 販売代表

商品名			
商品のねらい			
商品の特徴			
ここがウリ！			
商品価格	目標生産量		
目標販売量	目標売上高(A)	円×	=

原材料の単価と数量	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
原材料費総額		
販売にかかる諸費用		
目標利益額		

6





## 中学生の起業体験の成果

い評価をいただき、私一人では決してできなかった授業だと改めて実感しています」と地域や周囲と連携する重要性について話します。

このカリキュラムを終えたあと、

生徒たちには「自分でも何かを成し遂げられる」という自信がつき、受け身的な態度から「自分から考え実行しよう」という主体的な姿を目にする場面が多くなったと、小谷先生は振り返ります。なかでも「社長」を務めた生徒の成長は目覚ましく、経済に関する単元の定期テストで高得点を取る生徒も続出。その年の平均点も例年よりずっと高くなったそうです。

生徒たちからは

「経済のニュースに関心を持つようになった」、「お金を簡単に使わなくなった」という声も聞かれ、卒業式には「販売会の体験は忘れません」、「きっと将来の役に立つと思います」という感謝のメッセージも届きました。

「経済とは本来、生徒にとって身近な学習であるはずですが、起業を体験することにより、本当の意味で経済を身近に感じ、基本的な知識と技能を身につける効果が出たと思っています」と小谷先生は大きな手応えを感じたそうです。

## これからの世界を見据えた金融教育

「世界と向き合っていく人材を育てること」が、小谷先生が常に大事にしている基本理念です。今回の起業を体験する授業でも、「起業家精神を通して世界で十分に戦える意識を持たせること」を目標のひとつにしていました。

今年の春からは新任地の中学校へ異動。人なつっこい生徒が多く、全校をあげて互いの「とりえとよさ」を認め合う校風に、社会科教

師としてどう向き合うかを思案中です。

「金融教育はまだ発展途上の分野ですが、生徒たちが日本を背負って世界と競える意識を持つための大事な取り組みのひとつだと考えています。生徒たちに、いかに主体性を持たせることができるかは中学校教育の重要なポイントで、金融教育はその突破口を担う分野だというのが私の実感です」。

大きな思いを託した生徒たちの成長を楽しみに、小谷先生の挑戦は新たな学校で再び始まったばかりです。



『中学校から会社をつくろう』  
～日本を背負い、世界と向き合う人材を育てる金融教育～

# 子育て世代の家計運営と生活設計

— 第5回 — 講師：池谷てる代 静岡県金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上公開セミナーを行います。第5回の講師は静岡県の池谷てる代さんです。池谷さんは消費生活やマネープランなどを中心とした講演活動を行っていますが、なかでも、三人のお子さんを育て上げた人生の先輩として語る、「子育て世代の家計運営と生活設計」をテーマにしたセミナーが、子育て世代の母親を中心に大きな共感を呼んでいます。



## 子どもに伝えたいお金の話

子育ては、経済的にも精神的にも「子どもが将来一人で生活できるようにすること」が最大の目標だと思います。子どものうちから金銭感覚を養い、お金との付き合い方を教えることはとても大切です。

一緒に買物に連れていったり、実際にお金を使わせたり、子どもには実体験をたくさんさせてあげましょう。生活習慣と同じで、金銭感覚は知識ではなく、体験によつて少しずつ身につきます。「お金は使ったらなくなる」とは誰だって理屈では分かります。それでも大人になって多重債務者として苦しむ人がいるように、「一定の範囲でお金を使うこと」を身につけることは、当たり前のこととはいえ、案外難しいものなのです。

子どものときから実体験で学ばせるには、「おこづかい」の使い方を通じて教えるのがよいでしょう。上手にやりくりできるまでは、すぐに使い切ってしまったら、必要ないものを買ってしまったら、何度も失敗するはず。その失敗こそお金の大切さや、やりくりの仕方、ガマンすることを教えてくれます。

「子どもがマンガしか買わない

ので、おこづかいをあげるのをやめた」というお母さんがいました。ところが、マンガしか買わないのは、「ほかに欲しいものがないから」という理由だったのです。

学校で必要な文房具も欲しいオモチャも、それまで通りに親が買い与え、そのうえで「おこづかいをあげても、子どもにはもうすでに足りないものがあるかもしれません」「いくらあげるか」「いつあげるか」「何に使うか」は家庭の方針によつてさまざまでしょう。それも含め、おこづかいをスタートさせる前に、親子でよく話し合つて決めることが大切なのです。(図)

## 子育て中から子育て後のことも考えよう

子どもがまだ幼いうちは、「子育てにはお金がかかる」という情報や知識はあっても、具体的なマネープランを立てている家庭は少ないかもしれません。

人生の三大資金とは「教育資金」「住宅資金」「老後資金」。住宅資金は購入時期を変えたり賃貸を選ぶことができますし、老後資金は自分たちである程度コントロールすることが可能です。しかし教育資金は、子どもの成長が待つてくれない以上、子どもが生

### 図：「おこづかい」で金銭感覚を育てる「おこづかいをあげるときの5つのポイント」

#### ①「ときどき」あげるのではなく、「月1回」

計画性を身につけるためにも、毎日から週1回へと、少しずつ慣れさせます。目標は独り立ちのときを踏まえて、月1回にしていきます。

#### ② おこづかいの金額は一定

使えるお金には限度があることを教え、途中で足りなくなっても追加はしません。使い切ってしまったらガマンすることを覚えます。

#### ③ 身近な大人(祖父母など)と連携

周囲の大人たちとよく話し合い、安易にお金を渡さないようお願いしておきましょう。親から渡すこ

とにこだわらず、「おこづかいは、おばあちゃんから」と決めてもよいでしょう。

#### ④ おこづかいの範囲は事前に話し合う

文房具は親、ジュースやおもちゃはおこづかいなど、「必要なもの」と「欲しいもの」でおこづかいの範囲を相談して決めておきます。用途や家庭の考え方で金額には差が出ます。時期を見て話し合い、金額を見直すことも必要です。

#### ⑤ 一度あげたおこづかいの指図はしない

親が管理すると、子どもは自分で考えることができません。子どもの自主性を大切に。

## 池谷 てる代 (いけや てるよ)

専業主婦から「主婦であることが活かせる資格」をめざし、消費生活アドバイザーやファイナンシャルプランナーを取得。以後、浜松市を拠点に消費生活講座などセミナー講師として活躍するかたわら、2004年より金融広報アドバイザーに。法テラス浜松の情報提供職員、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)静岡分科会会員。自らの生活経験を活かした、「生の声」を各世代に届ける活動を行っている。

【金融広報アドバイザーとは】金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

表:「あなたの未来の生活設計表」を書いてみよう

生活設計表とは、家族全員のライフプランとマネープランの一覧表です。以下の項目を自分の老後まで考え、具体的な数字を入れていきましょう。

		2015	2016	2017	～	2020	～	2060
家族の 年齢	夫	35	36	37		40		80
	妻	35	36	37		40		80
	子	4	5	6		9		
	子	1	2	3		6		
	( )							
	( )							
ライフイベント	家族旅行			小学校入学 幼稚園入学	車買い替え		住宅購入	
ライフイベントのために必要なお金	10			50	150		1500	
収入	夫350	夫350	夫360 妻100 計460					
支出	280	290	320					
上記収支差額	60	60	90					
貯蓄累計額 および借入金	380	440	530					

まれたときから計画的に準備することが大切です。

高校までの費用は月々の家計から支出することを原則とし、併せて高校卒業後の進学資金としてま

ず200～300万円を目標に積み立てていくのが目安です。こ

う話すと、そんな先の大きなお

金のことまでピンとこないかもし

れませんが、家計から毎月1万

円、2万円とコツコツ貯めていけ

ば、18年間は216カ月あります

から、そのやりくりで教育資金は

なんとかなるはずですよ。

また「教育費は聖域」と考えな

いでください。「子どもにどこまで

お金をかけるか、かけられるか」

は、よく家族で話し合ひましょう。

子どもにも、「あなたに準備でき

る費用はこれだけ」ということも

しっかり伝えておくことが大切で

す。進学する子どもの希望も聞い

て、足りない場合は奨学金や教育

ローンを利用することも一緒に考

えることで、子ども自身も進路に

ついて真剣に向き合うきっかけに

することが出来ます。

なお、親世代は子育て後の人生

も非常に長いことを忘れずに。「教

育資金」が終わっても、その後の

自分自身の人生に必要な「老後

資金」を考えたライフプラン、マ

ネープランも考えておかなけれ

ばなりません。「定年時に夫婦で

3000万円の貯金が必要」とは

一般的によくいわれますが、定年

後にも教育費が必要な家庭は、さ

らに念入りなプランが必要となる

でしょう。

「自分を主役」にライフ  
プランを立ててみよう

ライフプランを考える際、生活

設計表にまとめてみると、ひと目

で見えて分かりやすくなります。

家族全員の将来の希望を確認し、

「教育資金・住宅資金・老後資金」

の必要な時期が、おおよそ「いつ」

「いくらぐらいか」を一覧表にする

のです。(表)

私はよく講演で、生活設計表

のブランクシートと、官公庁やマ

スコミが発表する世の中の家計の

平均値の参考例を渡していますが、

平均値はあくまで参考で、「家庭

に帰って自分自身で作ってもらう」

ことが重要です。家庭ごとに異な

る事情や状況を把握したうえで、

「現状の家計(収支)」と「これか

らの生活(貯蓄)」を考えなければ、

あまり意味がないからです。より

現実的にできるだけ具体的に考え、

生活設計表にあなたの家庭の「未

来」を書いてみてください。

こんな話をしている私自身、理

想通りにできているかといえば、

偉そうなことは言えず、数々の失

敗をしてきました。えてして理想

と現実とは違うもの。とはいえ早

うちから、必要となるお金の現実

を知っておけば、「心の準備」がで

きますし、目の前の現実を踏まえ

たうえで、次の理想を設定して努

力をすることも、時間があればあ

るほどできるはずですよ。「育児と

毎日の家計のやりくりでいっぱい

いっぱい」なのが子育て世代です

が、ちよつと長い目で考えてみて、

「自分を主役とした人生設計」を

心のどこかで意識しながら暮らし

てほしいと思います。

今回のまとめ

- ★子どもにも、お金のことを伝える
- ★教育費は生まれたときから計画的に準備する
- ★生活設計は「自分を主役」に老後まで考える



古今東西、昔から伝えられているおとぎ話から現代の映画やマンガまで、お金や経済にまつわる物語は数え切れないほどたくさんあります。  
今回は昔も今も変わらない、庶民の暮らしが垣間見える江戸川柳を取り上げます。

第5回

江戸の昔も変わらない暮らしのホンネ!?

# 「江戸川柳」

五・七・五の心地よいリズムで作られる川柳は、俳句のように季語を必要としない気軽さもあり、子どもからお年寄りまで広く親しまれています。最近ではサラリーマンの悲哀を取り上げたり、夫婦や税金、トイレなどさまざまなテーマの川柳コンテストも開催されており、誰も一度ぐらいいは考えてみたことがあるのではないだろうか。

川柳は江戸時代中頃から盛んになったといわれています。明和二年（1765年）から天保十一年（1840年）に発行された川柳集の『誹風柳多留（はいふうやなぎだる）』は、江戸時代の庶民の日々の暮らしの「コマが表現され人気を博しました。今回はその中から、お金にまつわる川柳をご紹介します。まずは江戸っ子気質をベースにした句。

江戸者の 生まれそこない 金を貯め

自分がお金がないのはチャキチャキの江戸っ子だからだと粋がっているわけですが、当時の江戸は、棒手振り（行商）や職人などの日銭を稼ぐ商売も多かったため、たとえお金を使い切っても明くる日にはすぐに稼げたのだそうです。

お次はこちら。

かごちんを やって女房ハ つんとする

酔って駕籠（かご）を使って帰ってきたら駕籠賃が足りず、代わって支払った女房が不機嫌になるという状況は、タクシーで帰宅したお父さんとまったく同じで、様子が目に浮かびますね。次の句も今も昔も変わりません。

新見世と いへばわづかな 欲を買ひ

新規オープンと聞けば、粗品目当てについてい出かけてしまうもの。

このように、あれこれ使っていると、稼いだお金もすぐになくなってしまいます。そして、家計が火の車になると……

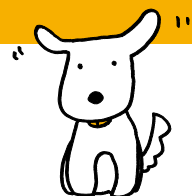
これ小判 たった一ト晩 居てくれる

当時長屋の住人にとっての一両（約5、10万円）はほぼ月収に等しい水準です。それがその日のうちに借金で支払いで手元に残らない。せめて一晩だけでも……と切なくなります。ではお金持ちなら……?

金持ちの 人魂行きつ もどりつし

残した財産が気になって、往生できないというわけです。庶民の気楽さに共感してしまいますね。皆さんも、お財布をのぞいて、一句いかがですか。





読者のみなさまの声を紹介します。  
ありがとうございます。

●「なるほど知るぽると」の高校生の作文「生活費の難しさ」を読みました。「私も同じですよ…」と、思いながらも、忘れていたことを思い出した気持ちにもなりました。若くして家計を預かるという責任は重いと思いますが、よい経験になっているはずです。夢のために使って素晴らしい人生を歩んでほしいと思いました。

(秋田県・E P I Cさん)

●金融・経済おもしろ豆知識で、イソップ物語には生きるヒントがたくさん隠されていてわかりやすかったです。また、巻頭インタビューでのパトリック・ハーランさんのお金に苦労している生い立ちは意外でしたが、その経験が教育一家という環境も手伝って、お金を上手に活かす儉約家になったのだと思いました。

(青森県・紫のガーベラさん)

●初めて御誌を読ませていただきました。家計の毎月の収支、管理は自分ではしっかりやっていると安心していた部分がありましたが、いざ御誌の家計管理のコーナーを読むと、とっとと将来を見据え、生涯のマネープランを設計していかなければならぬんだと家計を見直すいい機会になりました。

(栃木県・八重樫文さん)

●とても勉強になりました。実行できるところは早速行動に移したいです。また小学生からの教育の大切さも痛感しました。

(兵庫県・白い風船さん)

●真壁先生の「行動経済学」、面白かったです。人間は時として非合理的、非理性的な経済行動をとるものです。その事をふまえた上での精緻な経済理論の構築、アプローチは斬新です。興味深く読ませていただきました。感動、共感しました。

(兵庫県・ニコニコヒグニャンさん)

●童話「イソップ物語」を実に数十年ぶりに目を通しました。小さい時によく父母から語ってもらったことを思い出しました。人生教訓童話の大切さを現代人に教えておくことの重要性を再認識です。

(北海道・さっけんぼくんさん)

## 知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとにヨコに言葉を入れていくと、タテの太枠にキーワードが完成します。本誌に登場した印象的な言葉ですが、さて何でしょうか？

A.			カ	
B.		コ		ス
C.				ダ
		イ		
D.				ミ
E.			ウ	
F.	オ			

### ヒント

- A. おいしい季節です
- B. 経済学は英語で
- C. 薄紫の香る花といえば
- D. ココナッツオイルが話題
- E. 山鉾が有名な祇園祭が行われます
- F. 御先祖様を想います

※答えは次号掲載

### ●前号の答え

#### アルバイト

パトリック・ハーランさんの子ども時代のおこづかいルールは、「貯めてから使う」。アメリカでは、幼いころから自立した金銭感覚を養おうとする傾向があることも教えてくれました。

## おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。2015年8月31日までにご意見をくださった方の中から、抽選\*で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン\*\*&メモ帳」をプレゼントいたします。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。  
※※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

### ●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答（左記参照）
- ⑦ご住所・お名前・年代・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

### ●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
日本銀行情報サービス局内  
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛  
メール : info@saveinfo.or.jp  
FAX : 03-3510-1373  
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

## 都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011 (241) 5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017 (734) 9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019 (624) 3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022 (211) 2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018 (824) 7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023 (630) 3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024 (521) 6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029 (224) 2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028 (623) 2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027 (226) 2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048 (261) 0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043 (225) 7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03 (3277) 3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050 (7506) 1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055 (227) 2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026 (227) 1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025 (223) 8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076 (424) 4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076 (223) 9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776 (22) 4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階	058 (213) 9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054 (273) 4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052 (954) 6603
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059 (246) 9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077 (528) 3411
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075 (212) 5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06 (6206) 7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078 (334) 1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742 (27) 5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073 (426) 0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-220	0857 (26) 7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852 (32) 1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086 (227) 5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082 (227) 4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083 (933) 2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088 (621) 2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087 (825) 1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089 (933) 6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088 (822) 0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092 (725) 5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952 (25) 7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095 (820) 6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096 (383) 2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097 (533) 9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985 (23) 6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099 (286) 2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098 (866) 2187

くらし塾 vol.33  
さんゆう塾

平成27年7月発行

●編集・発行  
金融広報中央委員会  
●編集協力  
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

### 編集 後記

太陽のまぶしい夏がやってきました。今号は、夏休みに親子でお金について話すきっかけになるようなテーマを取り上げました。また、新連載のエッセイ「経済学者がくらしをあばく」は、社会のさまざまな事象を鮮やかな切り口で解説していきます。「くらし塾 さんゆう塾」は創刊から8年。これからも暮らしに役立つお金の知恵・知識をお届けしてまいります。

\* 本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。  
\* なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>





## 宮城県石巻北高等学校

2011年3月11日に発生した東日本大震災の約1年前、時代のニーズに対応できる人間の育成をめざした総合学科を開設し、「宮城県河南高等学校」は新たに「宮城県石巻北高等学校」としてスタートしました。

2013・2014年度は、宮城県金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、「人生における金融機関との関わりを考える」をテーマに、2年間の金融教育活動を実践してきました。中でも、地域交流広場「とらまい」活動は、生徒が店を経営し、その面白さや難しさを実感しながら、起業に必要な知識や経験を身につけるための場として大きな意味を持つものでした。

「虎舞（とらまい）」とは、旧河南町鹿又地域の伝統舞踊です。この舞踊の伝承と店舗の経営を組み合わせた新たな学びの場が、この地域交流広場「とらまい」活動です。

総合学科には、5つの系列（食農・家庭・経情・教養・進学）があります。生徒たちは、消費者を意識しながら、農作物の栽培から加工、販売までを行う6次産業化を視野に入れ、食農系列は「商品の供給」、家庭系列は「レシピ作りや試食会の企画実施」、経情系列は「店舗経営全般」、生徒会役員は「他の高等学校や特別支援学校からの受託販売」等を担当し、様々な実践を積み重ね、地域の人々とのコミュニケーションも深めてきました。

「人の数だけ道がある」、「めざせ！地域のスペシャリスト！！」。「とらまい」活動は、今では学校活動の柱の一つとなっています。

学校のすぐ近くには北上川があります。石巻を育んできた母なる川は、東日本大震災で一瞬にして流失した街の復興とその未来をいつまでも見守っています。



北上川

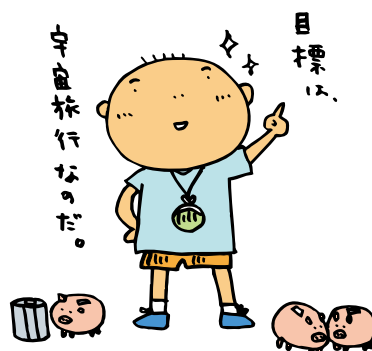


地域交流広場「とらまい」



虎舞（とらまい）

# おこづかい 貯めてつかえば おこづかい。



## 知るぽると 金融広報中央委員会 (事務局：日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会って？

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。

そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。

そんな思いで活動しているのが、「知るぽると」の金融広報中央委員会。

日本銀行の中に事務局のある、中立・公正な団体です。

「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。

くらしに役立つ身近な知恵・知識の「港：Porto」「入り口」です。

知るぽると ホームページ

<http://www.shiruporuto.jp/>

